

終活の社会性

少子高齢化が進む 日本の現状



一般社団法人 終活協議会
想いコーポレーショングループ

- 01. 少子高齢化が進む日本社会
- 02. 少子高齢化がもたらす終活の課題
- 03. 終活が果たす役割の変化
- 04. これからの時代に必要な終活の考え方



01. 少子高齢化が進む日本社会

日本では、少子高齢化が急速に進んでいます。

高齢者の割合は年々増え、一方で、子どもや若い世代は減少しています。

これにより、

家族の形や、支え合いの仕組みが大きく変わりつつあります。

「家族が当たり前を支えてくれる」

という時代ではなくなってきているのが、現在の日本社会です。



02. 少子高齢化がもたらす終活の課題

少子高齢化が進むことで、終活に関する課題も増えていきます。

- ・ 身近に頼れる家族が少ない
- ・ 子どもが遠方に住んでいる
- ・ 配偶者や兄弟がいない
- ・ 家族に負担をかけたくない

このような状況では、

「何かあった時にどうするか」を事前に考えておく必要があります。

終活は、家族の代わりに自分で備える手段として重要性が高まっています。



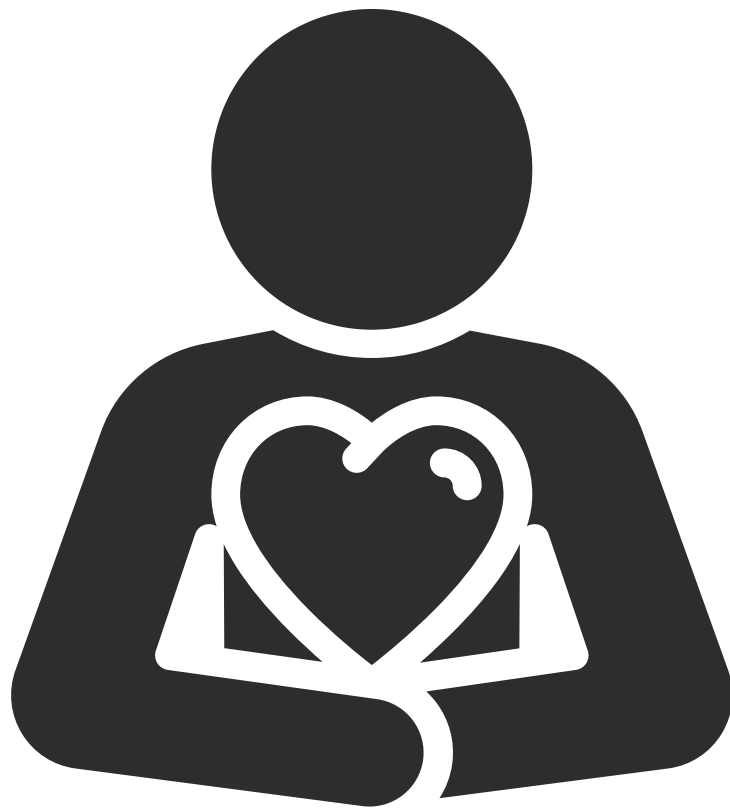
03. 終活が果たす役割の変化

かつての終活は、家族に向けた「引き継ぎ」の意味合いが強いものでした。

しかし現在は、自分自身の人生を守るための準備として
終活が捉えられています。

- ・ 老後の生活設計
- ・ 医療や介護の希望
- ・ お金や契約の整理
- ・ 万が一の時の対応

終活は、少子高齢化社会を生きる上での
「自分のための備え」になっています。



04. これからの時代に必要な終活の考え方

これからの終活は、早めに、少しずつ進めることが大切です。

一人で抱え込まず、情報を知り、選択肢を理解し、
必要に応じて専門家の力を借りる。

終活は、「最期の準備」ではなく、安心して生きるための準備です。

少子高齢化が進む今だからこそ、終活の重要性はますます高まっています。



Thank you!

ありがとうございました！



全国に終活の輪を広げる
社会貢献活動を目指しています

